

公表	事業所における自己評価総括表		
----	----------------	--	--

○事業所名	こばんはうすさくらさいたま見沼教室（児童発達支援クラス）		
○保護者評価実施期間		2025年10月25日	～
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間		2025年 11月4日	～
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心して通所できる事業所	・記録の共有をすることにより職員間で共通認識を持ちながら支援している ・表情豊かに、笑顔を大事にした支援を心掛けている	現在の支援を継続していく
2	発達や特性、進路に応じた療育の充実	・子どもの見立てや支援方針を共有し、日々の関わりに繋げている ・子どもの特性応じてプログラムを工夫して提供している	現在の支援を継続していく 児童の状況や保護者の希望に応じた支援を目指していく
3	丁寧な保護者支援	・年2回のモニタリング面談実施に限らず、保護者の希望に応じて電話相談や面談の実施を行っている ・幼稚園・保育園訪問を行い子どもの発達や成長を共有し療育に繋げる。また支援課・相談支援との連携もはかる	現在の支援を継続していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との関り	保育園・幼稚園との職員間の連携はできているが、園児との関りが出来ていない。	保育園・幼稚園の側とのイベントの調整や両者の保護者理解を得る必要があり、現実的には難しいが、園庭開放等への利用を検討していく
2	ヒヤリハットの共有不足	同じような事案でも都度ヒヤリハットの記入を行っているが、対策を共有する機会が少ない	事案について会議などで対策面を話し合っていく
3	現状の配置数による支援	配置数は適切ではある。個別に配慮が必要な児童における対応の人員面で課題が残っている。	職員人員の調整を、朝礼時に再確認し配置していく。

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくらさいたま見沼教室（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	2025年10月25日～2025年11月15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	11
○従業者評価実施期間	2025年11月4日～2025年11月15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月16日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心して通所できる事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>記録の共有をすることにより職員間で共通認識を持ちながら支援している</li> <li>表情豊かに、笑顔を大事にした支援を心掛けている</li> </ul>	現在の支援を継続していく
2	発達や特性、進路に応じた療育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の将来の見立てと方向性を個々にみて判断しながら日々支援し反映していく</li> <li>児童の特性に応じたプログラムの提供を行っている</li> </ul>	現在の支援を継続していく 児童の状況や保護者の希望に応じた支援を目指していく
3	丁寧な保護者支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>年2回のモニタリング面談実施に限らず、保護者の希望に応じて電話相談や面談の実施を行っている</li> <li>必要に応じて学校・支援課・相談支援との連携をはかる</li> </ul>	現在の支援を継続していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との関り	地域の方々との関りがほとんどない。イベントへの兄弟の参加はしていただけるようにしている。	イベント等を通して検討していく
2	ヒヤリハットの共有不足	同じような事案でも都度ヒヤリハットの記入を行っているが、対策を共有する機会が少ない	事案について会議などで対策面を話し合っていく
3	現状の配置数による支援	配置数は適切ではある。個別に配慮が必要な児童における対応の人員面で課題が残っている。	職員人員の調整を、朝礼時に再確認し配置していく。